

子宮頸がん予防接種

■ヒトパピローマウイルス (HPV)

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染が原因で起こるがんです。

HPVは特別な感染症ではなく、多くの場合は感染しても自然に排出されますが、一部が子宮頸がんを発症します。HPVワクチンを接種することで子宮頸がんの予防をします。

また、予防接種の有無に関わらず、20歳以上の女性の方は、2年に1回は子宮頸がん検診を受け、子宮頸がんの早期発見に努めましょう。



▲子宮頸がん検診の詳細はこちら

■接種時の注意点

子宮頸がん予防接種は、ワクチンとの因果関係は不明ですが、接種後の副反応が報告されています。そのため、現在積極的な接種勧奨は行っていませんが、中学1年から高校1年までの女性は、定期接種として予防接種が受けられます。ワクチン接種による有効性とリスクを十分に理解したうえで、接種を希望される方は健康介護課へご連絡ください。

☎健康介護課 ☎388-7171

幼児の麻しん風しん混合予防接種

麻しん風しん混合予防接種を実施していますので、早めに接種してください。過去に麻しん風しんにかかったお子さんでも、予防接種を受けることができます。

予診票のない方は、母子健康手帳を持参し、役場健康介護課窓口または福祉健康センターへお越しください。



対象年齢と接種期限

	対象年齢	接種期限
第1期	1歳の幼児	2歳の誕生日の前日
第2期	令和2年度中に6歳になる幼児 (平成26年4月2日～ 平成27年4月1日生まれ)	令和3年3月31日

接種医療機関 郡内の指定医療機関

※かかりつけ医が郡外の方は町が指定する
市内の協力医療機関

持ち物 予防接種予診票・母子健康手帳

☎健康介護課 ☎388-7171



▲指定医療機関一覧はこちら

妊娠を希望する方などの
風しん・麻しん風しん混合
ワクチンの接種費用助成

「先天性風しん症候群」の発生を予防するため、風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチン接種を希望する方に接種費用を助成します。

対象者や接種医療機関などについての詳細は、町ホームページをご覧ください。
健康介護課までお問合せください。



▲詳細はこちら

☎健康介護課 ☎388-7171

見守りSOSサービス事業に
登録を

認知症による徘徊のおそれがある方とご家族を支援するため、徘徊時の早期発見や保護、スムーズな帰宅につながる仕組みとして、登録番号入りの「見守りSOSステッカー」を配布しています。

対象者 町内に住所を有し、在宅で生活している方で、介護保険主治医意見書で認知症自立度がⅡa以上の方

費用 無料

登録内容 対象者・申請者・介護者(2人)の住所、氏名、性別、生年月日、電話番号

※ステッカーは1人30枚配布しますので、対象者の衣類や持ち物などに貼ってご利用ください。対象者が警察などに保護された際に登録先へ連絡が入ります。

☎健康介護課

☎388-7171